



キラッと輝く合志人

人生の真ん中にお菓子づくりあり

たいせいどう つつみ こういち
大盛堂代表 堤 公一さん(堀川)

シャツ、シャツ、シャツー

材料を絶妙に手のひらでかき混ぜて落がんの生地をつくる。パウダースノーのようなきめ細やかな手触り。温度、湿度などの気象条件によって必要な分量が微妙に変化する。適度な固さを手の感覚で判断している。

「今日は藤崎八幡宮に落がんを400個納める予定です。この時期はイベントが続くので忙しいですね」忙しい中でも、笑顔を絶やさない堤さん。和洋菓子手づくり工房有限会社大盛堂代表のオーナー、そして菓子職人として店を切り盛りしている。

熊本市で菓子製造工場を経営する父、幼少期から職人さんたちと過ごすのが日常の光景。22歳になり、手に職をつけようと思ったときに、当然のように菓子職人への道が浮かんできた。「お菓子作りは父を見て真似し、必死に覚えしました。教えてくれることはほとんどなく、とても苦労しました」数年後、堀川にお店を開いた。「周りのお店と少しでも違いを出そうと思いました」自

家製のアん、厳選した素材、手作りの味が大盛堂の自慢である。

堤さんは後進への指導や和菓子の普及にも情熱を注ぐ。子どもたちの和菓子作り教室や専門学校での指導、来年にはパン・洋菓子・和菓子作りの短期大学校を全国で初めて熊本市に開校する。

「昔は職人の技術を見て覚える時代だったが、今は資格として持っておくべきですね」お菓子作りを目指す若者たちのために、堤さん自ら道を切り拓く。お店で働くお弟子さんたちには店舗の2階に住まいを提供し、食事を共にする。お弟子さんたちは「オーナーみたいに職人をしてながら後輩の育成との両立ができるように目指していきたい」と語り、まさに憧れの存在である。

先日、長年の功績が認められて旭日双光章を受賞。また昨年は国家資格一級菓子製造技能士を取得した。確かな技術、次の世代を育てる熱い思い、お客さんと思う気持ち、お菓子づくりの神髄はここにあるのかもしれない。



あなたの周りの合志人を探しています
企画課 企画広報班(合志庁舎) ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。
自薦他薦は問いません。たくさんの紹介をお待ちしています。

人の動き

人口……61,740 (+88)
世帯……24,116 (+95)

出生…58 (+1) 転入…380 (-153)
死亡…36 (-13) 転出…314 (-259)

※4月末現在 ()内は前月比

この編集後記、合併後からことしの4月号までずっと「ちどりふで」というタイトルでした。それを先月号から思い切って変えてみました。

和顔愛語とは和やかな顔つきや優しい言葉遣い、穏やかで親しみやすい振る舞いのことを言います。実はたまたまある先輩に教えてもらった言葉でした。分かりやすく温かみのある広報紙を作りたいという思いと重なり、変えました。

皆さんに読んでもらってこそその広報紙。新しい発想は苦手ではありますが、普段の生活も和顔愛語で。

井芹

和顔愛語

実はP12に掲載したリレーマラソン、私も出場予定でした。しかし広報を担当することになりランナーを辞退。それを口実に、大会前に始めようと思っていたランニングも実行できませんでした。

数年前から、運動習慣や食生活を見直すうと思っていました。結局おそろそかになっっています。共感いただける読者の人はいませんか。

今月号ではP9がん検診、P25健康食レシピなど、本紙でも健康に関する情報を紹介しています。ぜひ読んで体を気遣う時間を作ってみてください。私も今度こそ運動を始めなくては。

小山